

デジタルアーカイブ特講

第3講 「知のデジタルアーカイブ」

久世均
(岐阜女子大学・教授)

「知のデジタルアーカイブ」

【目 的】

知のデジタルアーカイブに関する研究会により知のデジタルアーカイブ という提言がされ、システム（技術）、人材育成、災害の3テーマに焦点を当てたグループを構成して議論を行った。こうした議論から、デジタルアーカイブのための技術、知識、ノウハウの共有の重要性、デジタル・ネットワーク社会に適合したデジタルアーカイブ連携の必要性について考える。

【学習到達目標】

- a. 知のデジタルアーカイブの提言について説明できる。
- b. MLA連携などデジタルアーカイブの連携の必要性について説明できる。

知のデジタルアーカイブ

- ◆ 「知のデジタルアーカイブに関する研究会」は、図書館、博物館・美術館、文書館（MLA）を中心としたデジタルアーカイブ構築の推進について議論するために、平成23年2月より検討を開始した。
- ◆ 目的は、「図書・出版物、公文書、美術品・博物品、歴史資料等公共的な知的資産の総デジタル化を進め、インターネット上で電子情報として共有・利用できる仕組み（デジタルアーカイブ）の構築による**知の地域づくり**に向けて、関係者が広く集まり、**デジタル情報資源の流通促進に係る課題の整理**を行い、**デジタルアーカイブ間の相互連携の促進**を図る」

知のデジタルアーカイブにおける現状認識と論点

- ◆ 博物館・美術館(Museum)、図書館(Library)、文書館(Archives)等の知的資産を収集、蓄積、提供する機関が持つ知的資産へのネットワークを介したアクセス性を高める。
- ◆ 機関間連携（**MLA 連携**）の推進
- ◆ **震災の記録としてのデジタルアーカイブ**の役割に加えて、災害に対する備えとしてのデジタルアーカイブの役割

研究課題

知のデジタルアーカイブの提言を受けて博物館・図書館・公文書館の現状と課題について論述しなさい。

デジタルアーカイブ特講

第3講 「知のデジタルアーカイブ」

久世均
(岐阜女子大学・教授)